

2023年4月18日(火)発表
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
芸術情報・広報課(担当:川上・池田・木村)
Tel. / Fax.0561-76-4698
E-mail. shiryokan@puc.aichi-pu.ac.jp

2023年度コレクション展1 ひとのかたち—写実—

寫實といふのは、空想的なものではなく、現代社会の中に實際あるものを、如何にもそのものが其處にある様に、しかも繪畫的に現はすことだと思ひます。(中略)生き／＼した自然のものを畫面に現すには、どうしても必要なだけの變形や、強調や省略が入用だと思ひます。(中略)その實際の景色だとか實際の人物だとかとつき合つて見た場合、無論形や色は違つてはゐますがその繪から受けるものは矢張り全く本當の自然の景色や人物や花であると思ひます。

それから寫實的な繪には時代性がなくてはいけないと思ひます、今の景色、今の人物がそこに現れてゐなくてはいけないと思ひます、その繪を見て、昔の時代を思はずものは駄目で、畫材は必ず現代生活から取りたいと思ひます。

(『美術』第10巻第2号、1935年、7頁)

安井曾太郎「寫實とセザンヌの繪」



川島優《TOXIC》2015

この度、サテライトギャラリーSA・KURAでは、2023年度コレクション展1「ひとのかたち—写実—」を開催します。

本展覧会は、繪画や彫刻の身近な題材である「ひとのかたち」に着目し、「写実」と「抽象」(コレクション展2「ひとのかたち—抽象—」:2023年6月7日から開催)という二つのテーマで展観していきます。

日本における写實的な表現は、仏画や彫像など古くからありますが、繪画としての写實的な表現は明治以降、洋画の流入によるものが大きく影響しています。大正から昭和にかけて活躍した洋画家安井曾太郎は「写実というのは、空想的なものではなく、現代生活の中に實際あるものを、如何にもそのものが其處にある様に、しかも繪畫的に現わすこと」だと述べています。安井もフランスに留学し研鑽を積みました。「写実」という言葉には、安井の言うように、ただ見たままに描いたというだけでなく、作家の目を通して本物らしさを追求するところにその本質があると言えるでしょう。

本展覧会では、本学が収蔵する人物をモチーフにした作品の中から、作家それぞれの視点が垣間見えるような作品を紹介していきます。

ぜひ貴社にお取り上げいただきますようお願い申し上げます。

■ 展示予定作品



安井曾太郎《素描ニ-7》1908



鬼頭鍋三郎《赤衣の女》1942



石井鶴三《俊寛頭部試作》1930



アリスチード・マイヨール《右手をあげた婦人》

タイトル ひとのかたち—写実—

会場 愛知県立芸術大学 サテライトギャラリーSA・KURA

住所: 〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-9-19 成田栄ビル地下1階

Tel: 052-212-9316

E-mail: satellite-gallery@mail.aichi-fam-u.ac.jp

URL: <https://aua-sakura.com/index.html>

主催 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

展示期間 2023年5月10日(水)~5月28日(日) 月曜休廊

開廊時間 12:00~19:00

観覧料 無料

問合せ 愛知県立芸術大学 芸術資料館 Tel: 0561-76-4698

SA・
KU
RA
AUA GALLERY



2023年度コレクション展 1

ひとのかたち —写実—

2023年度コレクション展 1

ひとのかたち ー写実ー

2023年5月10日[水]～28日[日]

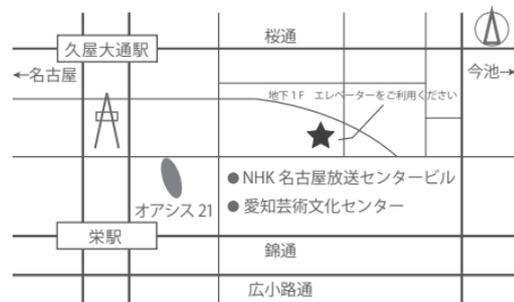
12:00～19:00 | 月曜休廊 | 観覧無料

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更および入場を制限する場合がございます。
最新情報は大学ウェブサイト、サテライトギャラリーSA・KURAウェブサイトをご覧ください。
大学ウェブサイト
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp>

表紙：川島 優《TOXIC》(部分) 2015 紙本膠彩

愛知県立芸術大学
サテライトギャラリー
S A ・ K U R A

〒461-0005
愛知県名古屋市東区
東桜1丁目9-19
成田栄ビル地下1階
tel. 052-212-9316
aia-sakura.com



地下鉄東山線 栄駅徒歩6分、地下鉄桜通線・名城線 久屋大通駅徒歩7分